

冬の月

降誕祭（クリスマス）の二日前
たえない強風が
空中に漂う土やほこり　ちりを全部
吹き飛ばした

一年で一番長い透明な暗闇を
満月が
照らす

空の一番の高みから
樹や
切り株や
藪や
廃墟の影まで
みんな照らし
しろい光で呼びかける

ちぢこまってかがんでいる
すべての逃げ出したもの
迷いさまよい歩くもの
暗い思いに負けたものたちに

安らかに休んで
おおらかな夢を見てもよいところへの
道筋を教えるために

幸運にも光がとどいた亡霊どもは
背と脚をぎくしゃくと伸ばし
泪の枯れたうつろな眼で
よろめき歩き
それぞれに小さなちいさな墓を探し出し
最後の眠りにつく

そして
月のひかりが墓をとかす